

沖縄県主催「秋の交通安全運動開始式」で交通安全啓発

～飲酒運転根絶や反射材の着用推進等を沖縄県庁にて来庁者に呼びかけ～

日本損害保険協会沖縄支部（委員長：大同火災海上保険株式会社 取締役常務執行役員 山里 武司）では、9月20日（金）に沖縄県庁で開催された、沖縄県等主催の「秋の交通安全運動開始式」に参加し、県庁来訪者に飲酒運転根絶や反射材用品等の着用推進を呼びかけました。

開始式では、交通事故で亡くなられた方々に黙祷した後に、沖縄県 照屋 義実 副知事から「9月21日から秋の交通安全運動が実施される。交通事故を無くし、安心して安全な社会を作るためには、県民の一人一人がルールを守ることが重要。県民の皆さまには本運動の趣旨を理解いただき、ご協力をお願いします。」、また、沖縄県警察 鎌谷 陽之 本部長からは「悪質な交通違反の指導・取締を強化することに加え、関係機関・団体の皆さまと連携し、県民の安全・安心な交通環境を確保するための取組みを推進する。」と挨拶がありました。

開始式終了後には、沖縄支部では、沖縄県職員とともに来庁者に対し、チラシ等の配布により、秋の交通安全運動の全国重点実施事項である「反射材用品等の着用推進」や、本県の課題である「飲酒運転の根絶」等を呼びかけました。

沖縄支部では、沖縄県や沖縄県警察をはじめとする、関係機関・団体とともに、交通事故防止の啓発等を通じて、地域の安全・安心向上に資する活動を推進して参ります。



沖縄県照屋副知事の挨拶



沖縄県警察鎌谷本部長の挨拶



交通安全啓発の様子



配布した啓発物